

Ⅱ 単元指導計画と評価規準（3観点）

科目名 家庭基礎

単元名 経済生活をマネジメントしよう

内容のまとまり C 持続可能な消費生活・環境
(2)消費行動と意思決定

1 単元の目標

- (1) 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解しているとともに、生活情報を適切に収集・整理できること。
- (2) 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し、工夫すること。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養うこと。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解しているとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。	自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の充実向上を図るために実践しようとしている。

3 指導と評価の計画（10時間）

〔1〕経済的自立と職業設計	1時間
〔2〕家計管理と経済計画	2時間
〔3〕意思決定と消費者行動	5時間
〔4〕循環型社会	2時間

4 単元の評価規準（3観点）

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	備考（・評価規準、【 】評価方法）
1	【ねらい】経済的自立と職業設計の必要性を理解できる			
	・雇用に関する新聞記事や職業インタビューなどを通して、将来の職業生活について考える。	思 ① 主	○	・自分の職業生活について考えることができる。 ・将来自分が就きたい職業について調べ、考えようとしている。

		①		【ワークシート、授業態度、定期考査】
	【ねらい】 お金を正しく管理する方法を知り、家計管理と経済計画の必要性を理解できる			
2	・家計簿を使って、家計の収支のバランスについて考える。	知 ① 思 ②	○	・家計簿を正しくつけることができる。 ・家計簿シミュレーションをもとに、収支のバランスや家計管理について考えることができる。 【ワークシート、授業態度、家計簿、定期考査】
	【ねらい】 消費者、家計と経済の関わりについて理解するとともに、消費行動が経済に影響していることに気付く			
3	・レシートを用いて小遣い帳を書かせ、お金やものの、サービスの流れを知る。また、自分自身の消費行動が経済に影響していることに気付く。	知 ② 主 ②	○	・家計と経済のつながりや、家計の特徴について理解している。 ・経済について興味をもち、自分の経済活動を振り返り、改善しようとしている。 【ワークシート、授業態度、定期考査】
4	【ねらい】 消費者として適切な意思決定を行い、責任ある消費行動をとろうとする態度を養う 生活情報の種類と役割について考え、正しく取捨選択し利用できるようにする			
5	・新生活に必要な物品の購入を題材にし、意思決定のプロセスを作成し、自己判断・自己決定することは責任を伴うことを知る	知 ③	○	・消費者として適切な意思決定を行うことの重要性を理解している。
6	・商品を購入する際に、どのような情報をもとにしているのかを話し合い、それらを正しく選択する必要があることを知る。	思 ③ 主 ③		・生活情報の収集にはいろいろな方法があることを、日常生活から考えることができる。 ・消費者として適切な意思決定をしようとしている。 【ワークシート、授業態度、定期考査】
7	【ねらい】 消費者として適切な意思決定を行い、責任ある消費行動をとろうとする態度を養う 生活情報の種類と役割について考え、正しく取捨選択し利用できるようにする			
8	・サービス化され、消費行動が多様化・複雑化の現状を知る。 ・ロールプレイやディベート DVD 視聴などを通して、消費者トラブルの原因や対処方法、その予防策について知る。	知 ④ 思 ④	○	・現代の販売方法や支払方法、消費者トラブルの原因や対処方法、また予防策について理解している。 ・自分の消費行動を振り返り、今後の消費行動について考えることができる。消費者トラブルの原因や対処方法について、具体的に考えることができる。 【ワークシート、授業態度、定期考査】
9	【ねらい】 循環型社会を実現させるために、環境負荷を与えない工夫や行動について理解する			
10	・身近に発生している環境問題について考え、循環型社会について学ぶ。また、調べ学習を通して、資源や環境に配慮した生活の工夫や行動ができる。	知 ⑤ 思 ⑤	○	・循環型社会に必要な 3 R や、法律や制度について理解し、環境負荷の少ない生活を送ることができる。 ・自分の消費行動を振り返り、環境負荷を与えない工夫について考えることができる。 【ワークシート、授業態度、定期考査】